

外国人集住都市会議 津会議2017



ぽんぽこちゃん

三重・滋賀・岡山ブロック



にんじゃえもん



滋賀県甲賀市 副市長

正木

仙治郎

Masaki

Senjiro

甲賀市の概要

市町村合併 平成16年10月 旧甲賀郡7町のうち、5町が合併して誕生

面積 481.62Km² (滋賀県全体の12%)

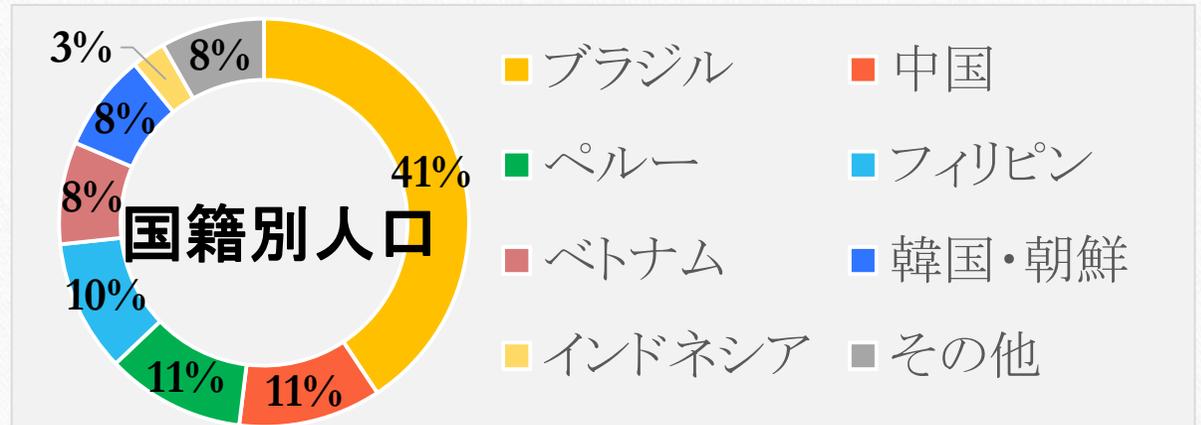
産業 日本遺産 忍者・信楽焼ダブル認定、信楽焼と薬と茶のまち
県内の製造品出荷額 第1位(9年連続)

第2次産業就業人口構成 第32位、従業員1人当りの製造品出荷額 第97位
(都市データパック2017年版 東洋経済)

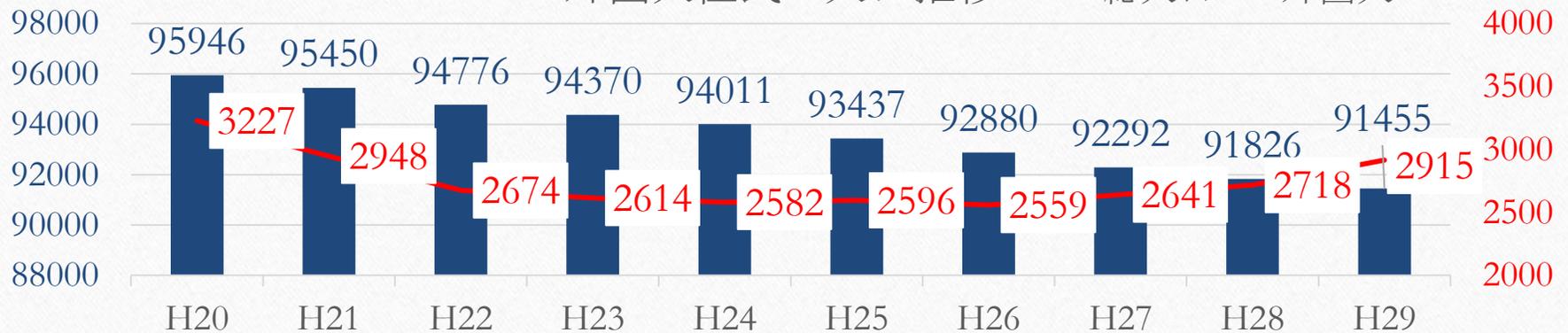


甲賀市の国際交流・多文化共生について

総人口：91,455人
 外国人人口：2,915人
 外国人比率：3.18%
 【平成29年10月31日現在】

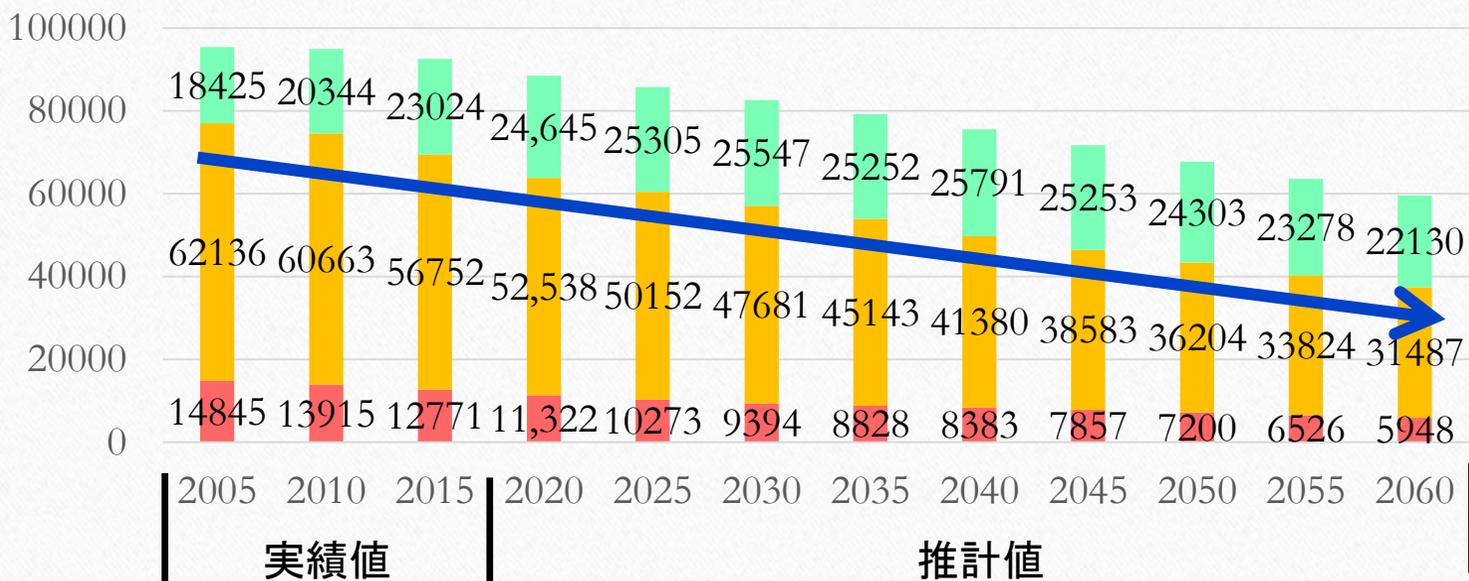


外国人住民の人口推移 ■ 総人口 ▲ 外国人



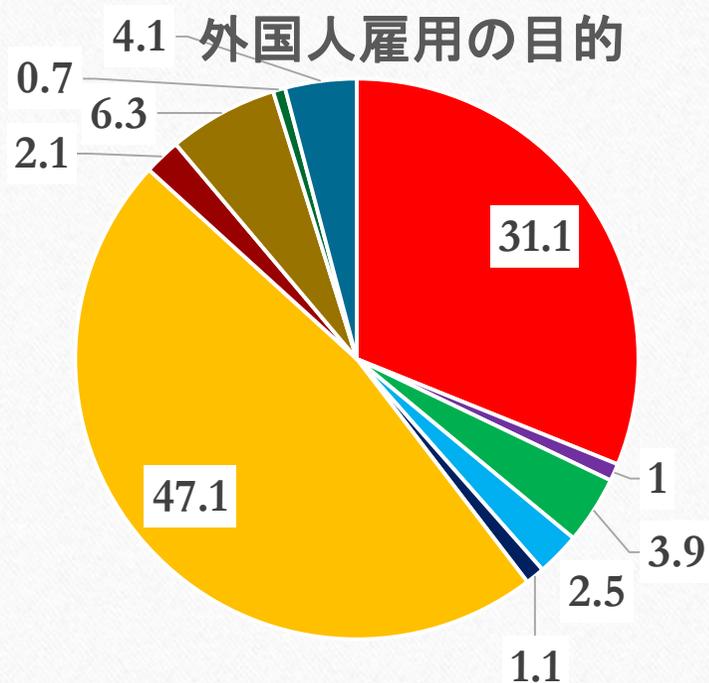
①甲賀市をはじめ、地方都市での生産年齢人口は顕著な減少傾向にある。

■ 0~14歳 ■ 15~64歳 ■ 65歳以上 甲賀市の人口推移 (国立社会保障・人口問題研究所)



②企業は人材不足を補うために、外国人を雇用している。

外国人集住都市会議「雇用ニーズ調査(2017)から



優秀な人材確保	31.1%
外国人としての感性・発想力	1.0%
海外とのネットワーク	3.9%
日本人社員への影響を含めた組織の活性化	2.5%
ダイバーシティ強化	1.1%
人手不足	47.1%
技能継承・地場産業の継承	2.1%
その他(直接雇用)	6.3%
その他(間接雇用)	0.7%
不明	4.1%

現状から見えてくる内容(1)

- 労働力の確保は、企業の死活問題につながる極めて重要な課題である。
- 若年層の都市部への流出、大学進学率の向上が中間技能人材不足（需給のミスマッチ）を加速している。
- 外国人高度人材を積極的に受入れているが、都市部への人口流出を加速させるにとどまり、地方都市の活性化にはつながっていない。

現状から見えてくる内容(2)

- 現在の二分化された外国人人材の受入れ制度では、地方経済に必要な技能や技術を有する人材の確保は困難である。
- 今後、外国人雇用が労働市場や地方経済で果たす役割を考えれば、出入国管理行政、特に在留資格制度について見直す必要がある。

国への投げかけ

- 出入国管理法の受け入れ要件の緩和、また、高度人材のポイント制を地方経済の活性化につながるよう見直すこと。
- 一定の職業資格を取得した者や、中間技能人材を受け入れる在留資格を創設すること。